

新・成人床矯正法

Ecology-Gnathology Orthopedics : A Clinical approach for the Adult

—顎態調和法による全身の健康と咬合治療法—

編集：荻原和彦、永山正人、星岡才賢、初谷宏一、阿曾敏正、粥川 浩

■執筆者：荻原和彦、永山正人、星岡才賢、初谷宏一、阿曾敏正、粥川 浩、
安藤亜奈美、檜山隆一、松村俊作、深井直樹、荻生俊樹、天田真弓、荻原栄和

35年
にわたる
研究と
研修会
(15年)
の集大成!

●A4判変形 208頁 上製本
●定価 (本体16,000円+税)

矯正治療を希望する「成人患者」に対応できる。
一般臨床医が取り組みやすい床矯正法がさらに充実。

■本テクニックを取り入れた結果……

- ▼私は顎態調和法の臨床結果を見て、はじめて「歯科医になって良かったな」と、しみじみ思っています。(東京都開業)
- ▼予防歯科と顎態調和法を取り入れた診療体系にしてからは、患者さんが蓄積され続けています。(神奈川県開業)
- ▼成人矯正を行うことによって小児矯正も多くなってきました。今では口コミで遠方からご家族で来院されるようになりました。(大阪市開業)
- ▼これまでに150症例ほど顎態調和法で矯正治療を行ってきましたが、一人一人個性のある治療ができたと思います。(群馬県開業)

■顎態調和法の特徴

1. 一定の訓練により短期的で容易に修得できる(診査・診断・治療方針を簡易化)。第一大臼歯より犬歯関係を重視する。
2. 小臼歯を抜歯しない。オーソドンティクスからオーソペディクスへ(後戻りが少ない)。
3. 固定式装置を使用しない(チェアタイムの短縮、齶蝕発生の減少)。
4. 顎外固定を使用しない(患者サイドになるべく負担をかけない)。
5. ただちに診療室に取り入れることができる。技工などバックアップシステムの確立、特殊な機械器具が不要である。一般臨床医が導入しやすい。
6. 口腔清掃に際し複雑な手技・道具などを必要としない。
7. 短頭型人種(アジア人種)に適したオリジナルテクニックである。

株式会社 第一 歯科出版

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-31-5-404 TEL.03-3779-1727 FAX.03-3779-1787

新・成人床矯正法

—顎態調和法による全身の健康と咬合治療法—

荻原和彦、永山正人、星岡才賢
初谷宏一、阿曾敏正、粥川 浩

編集

内容目次

第1部 基礎編

- 第1章 成人矯正の歴史と現状を探る
1. 「成人矯正」の歴史的展望—参考書から探る—
2. 現状を探る 3. 本書の特徴は
- 第2章 顎態調和法のフィロソフィー
—歯科医療へのエントロピー概念の導入—
エントロピーの世界とは
1. バイオロジーからエコロジーへ（エントロピーを下げる）
2. AngleからSimonへ（診査・診断・治療術・治療方針を変える）
3. オーソドンティクスからオーソペディクスへ（治療法を変える）
4. 固定式から可撤式へ（治療法を変える）
5. 抜歯・非抜歯から非抜歯へ
6. 歯科医中心から患者中心へ（治療目標を変える・患者が満足した咬合）
7. 一般臨床医にも導入しやすい方法であること
8. 小児から成人まで（ライフサイクルでの治療）
9. 咬合改善は全身の健康のために（審美から機能中心へ）
10. 対症療法から原因除去療法へ
11. 将来展望（すべては下顎側切歯の側方拡大から始まった）
- 第3章 床とワイヤーでの矯正の生物学的反応—クラシックな「歯列弓側方拡大法」から「歯槽弓側方拡張法」へ—
- 第4章 矯正治療成績の客観的評価への提案
1. 矯正治療の目的（歯列矯正と歯科矯正） 2. 咀嚼の三運動の支配神経
3. 不正咬合の咬合状態（基礎研究から） 4. 咀嚼リハビリ訓練
5. 咀嚼訓練を早期に施す（混合歯列期、IIA期）
- 第5章 顎態調和法は心と体の健康に役立つ
—Oral rehabilitationからHuman rehabilitationへ—
部分の中に全体が入っている
- 第6章 小児と成人中心での取り組み方
1. 過去 2. 現状 3. 未来
- 第7章 小児歯科専門医での取り組み方
1. Pooテクニック（顎態調和法）と出会う前
2. Pooテクニック（顎態調和法）導入後は
3. 当院における過去3年間の実態調査（治療終了症例）
4. 実態調査結果から 5. 未来に向けて
- 第8章 顎態調和法の経営効果
1. 歯科医療を厳しくしている因子 2. 一般消費者の動向（志向）
3. 歯科医療はサービス業である 4. ニーズの発想からの歯科医院経営
5. 患者のニーズを把握し対応する 6. 技術革新が今後の歯科界を救う

第2部 臨床編

- 第9章 拡大床を活用した顎態調和法は患者さんと歯科医を救う
1. 症例 2. 考察
- 第10章 成人矯正を中心に私の過去・現在・未来—
1. このような環境の中での矯正臨床について私の診療所での過去
2. 現在の当院での状況について 3. 症例 4. 当院での未来について
- 第11章 顎態調和法の導入—ネガティブイメージへの対応—
1. 顎態調和法との出会い 2. 顎態調和法の導入

3. 治療の実際—私が感じていること 4. 最近の症例について
5. 今後のこのテクニックについて
- 第12章 顎関節症の対応に顎態調和法を
1. 顎関節症との出会い 2. 荻原教授との再会
3. 症例 4. 顎関節症への対応についてのまとめ
- 第13章 顎態調和法の成人への対応—今、私はここがポイント—
1. 「大丈夫ですよ!!」生きている装置 2. 主訴の正確な把握から
3. 信頼関係が大切
4. 顎態調和法の導入—コミュニケーションを大切に—
- 第14章 成人矯正をさらに発展させるために
1. 診査法—来院するまでの経緯を知る
2. 治療法—歯に場を与える 3. まとめ
- 第15章 E.O.新テクニック
—第一大臼歯遠心移動後の側方歯群への対応—
1. ディスクレパンシーにどう対応するか 2. 第一大臼歯遠心移動の意義
3. 側方歯群への対応 4. E.O.新テクニックとは
- 第16章 顎態調和法テクニックQ & A

第3部 床矯正装置の設計と技工テクニックの要点

- 第17章 歯槽弓拡張装置の基本3型（タイプI・II・III）
1. 側方拡張装置（タイプI） 2. 第一大臼歯遠心移動装置（タイプII）
3. 前方拡張装置（タイプIII）—逆被蓋・Angle II級2類—
- 第18章 その他の床矯正装置—個々の歯の移動など（タイプIV・V）—
1. スプリング装置 2. スクリュー装置
3. アクティブイテンディングスクリュー装置
4. サージタル装置（タイプV） 5. オギハラの特設装置
6. 下顎前方誘導装置 7. リバーススクリュー装置

第4部 補遺

- 第19章 顎態調和法研修会の記録から—本音の話し合い—
●顎態調和法研修会：平成15年1月26日
1. 自己紹介と本日の目標
2. 第3回顎態調和法研究会全国大会について・感想など
3. ここまでの個人個人の感想と自己評価
4. 症例検討会 5. 本日の1日の感想と自己評価・今後の期待
6. 歯科雑誌（咬合と全身の健康について）の論文などに対するコメント
7. 本日のテーマ講義“擬似正被蓋” 8. 症例検討会 9. その他の質問
10. 本日の1日の感想と自己評価および「まとめ」
●顎態調和法研修会：平成15年3月9日
1. 自己紹介および初診に関する症例検討
2. 不全症例と顎変形症 3. 症例検討会 4. 本日の感想
5. 自己紹介および初診に関する症例検討 6. 不全症例と顎変形症
7. 症例検討会 8. 本日の1日の感想および「まとめ」
- 第20章 会員による症例集
1. 成人症例—前歯正被蓋、捻転、2|2舌側転位（カテゴリーI、タイプI）
[症例1~18：正中離開、捻転、叢生、舌側転位、切端咬合]
2. 成人症例—前歯逆被蓋、反対咬合（カテゴリーI、タイプIII）
[症例19~22：反対咬合]
3. 成人症例—前突（カテゴリーII、上顎前突、下顎後退、タイプVI）
[症例23~28：上顎前突、下顎後退]
4. 成人症例—補綴前処置症例として [症例29~35：正中離開、舌側転位、前突、歯列不正、反対咬合、頭痛、肩凝り、背中の痛み、前歯の不正咬合]

郵便はがき

141-8790

102

(受取人)

東京都品川区西五反田2-31-5-404

株式会社 第一歯科出版部



新・成人床矯正法

(冊)

(冊)

お名前

ご住所

TEL

指定納入店 / 直送希望 (いずれも送料は弊社負担です。)

切り取り線は必ずお守りください。

料金受取人払

大崎局承認

4051

差出有効期間
平成17年8月
31日まで

切手不要

送文書